

臨地実習 (基礎看護学)

[実習] 1年 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》明野 伸次 [akeno@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学演習の諸知識に基づいて実習課題を明確にし、看護学課題研究に関連した実習施設・場を選択する。実習では、課題を達成する場への参加を通して自らの学習課題を考察する。

【学修目標】

1. 関連する授業および実務経験にもとづいて、実習課題を説明できる。
2. 実習目的・実習目標を明確にし、実習計画を立案する。
3. 実習計画にもとづく実践を通して、自らの課題の展望を表現する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	1. 実習課題	1) 関連する授業、自らの実務経験にもとづいて実習課題を明確にする。 2) 例えば、対象者の理解、援助方法の検討、看護実践に影響する組織・制度に関する内容など。	明野
	2. 実習方法	1) 学生は実習課題を明確にした上で実習計画書を作成する。 2) 実習計画書をもとに実習施設側の指導者と打ち合わせを行い、実習目標および倫理的配慮に関する確認を行う。 3) 終了後は、指導教員とともに実践の振り返りを行い、課題レポートを作成する。	明野
	3. 実習場所	1) 学生の実習課題、実習計画にもとづいて実習施設を決定する。 2) 実習施設は、医療施設、地域社会の施設（保健施設、訪問看護施設）、看護系教育機関（看護専門学校、看護系大学）など。	明野
	4. 実習期間	実習期間はおおむね2週間。 実習課題や学習状況により、集中実習か分散実習かを相談・決定する。	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表(40%)、課題レポート(60%)を総合評価する。

【教科書】

特に指定しない。参考文献は随時、提示する。

【学修の準備】

自らの実習課題を明確にした上で、実習計画を立てて臨地実習に臨む。

事前に既習の知識の整理をしておくことと、実習の振り返りから見いだした疑問・課題をまとめておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。